

TKU LIBRARY NEWS

vol.
5

2015
Spring

図書館だより

Contents

新入生歓迎特集

pp.1-2 Books for freshers

pp.3-4 図書館活用のすすめ

pp.5-6 語学学習のすすめ

pp.7-8 本のある街・国分寺

p.9 大倉喜八郎—越後から江戸へ、そして世界へ—

p.10 学生・教職員のオススメ本

東京経済大学
図書館



Books for freshers 新入生の皆さんへ 学びの本&おすすめ本 特集

新入生のみなさん。入学おめでとうございます。

ここでは大学での学びのスキルに関する本と教員が選んだ「新入生へのおすすめ本」を紹介します。

図書館では4月より企画展示「Books for freshers」を展開します。新入生のみなさんはクラス指定で、「フレッシュャーズ・セミナー a」「大学入門」といった、レポートの書き方や発表の仕方について学ぶ初年次ゼミを履修します。展示では、この初年次ゼミでの学びに役立つ本や、講義で必要となる学習スキル、大学生としての心構えなどについての本を集めます。ここでは、展示予定本をいくつかピックアップしてご紹介します。

【大学入門】

近田 政博『学びのティップス—大学で鍛える思考法—』玉川大学出版部、2009年

大学での学びの意義や学ぶための方法、思考法が、それぞれ見開き2ページ（あるいは4ページ）の計32のティップス（コツ）にまとめられています。各項目はコンパクトで読みやすく、自分の興味のあるティップスを気軽にパラパラと見ることができます。「第3章 自ら学ぶ習慣を身につける方法」で紹介されている様々な方法や習慣の作り方については、大学生時代の自分に教えたい！



筒井 美紀『大学選びより100倍大切なこと』ジャパンマシニスト社、2014年

大学で学ぶ心構えや態度、さらにはノートの取り方など具体的な勉強テクニックまで書かれた、非常に実践的な大学入門。「わかんない」「つまんない」と言って過ごすにはあまりに長い4年間。ちょっとしたヒントで過ごし方は変えられます。まずは本書を読んで、頭を受験生モードから大学生モードに切り替えよう！



【レポートの書き方】

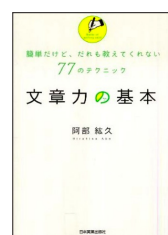
山口 裕之『コピペと言われないレポートの書き方教室』新曜社、2013年

大学で学生がまず格闘するのは、授業などで課されるレポートです。多くの教員は、資料に基づいて書きなさい、でもコピペはダメよ、と指導することでしょう。でも、写さずに資料に基づいて書くってどうすればいいの？ 本書は書籍やネットその他から得た情報を、適切に引用してレポートにまとめ上げる方法を、実例に基づき、懇切丁寧に解説しています。レポート執筆は、大学4年間、あるいは卒業して働くようになってからも、ずっとついてまわります。早めに書き方を訓練しておきましょう。



【文章術入門】

阿部 紘久『簡単だけど、だれも教えてくれない77のテクニック 文章力の基本』日本実業出版社、2009年
レポート等の長い文章を書いていると、一つの文の中で不整合のある表現を、ついつい用いてしまうことがあります。文章の不備を教員が添削してくれることもあるでしょう。しかし、徐々に自分で推敲して文章を直せるようになる必要があります。その時、本書の豊富な実例はきっと役に立ちます。一例をあげると「お客様から受ける質問には、正確な返答でなければならない。」（本書30ページ）。どこを直すべきかわかりますか？ このような単純でよくある間違いだけでなく、文章の構成に関する工夫も含まれていて、書くテクニックの勉強になります。



企画展示「Books for freshers」では1年次生だけでなく、2年次生以上のみなさんにも参考になる本を選んでいきます。展示されている本以外にも、レポート・論文の書き方など大学での学びについて解説した本は沢山あります。図書館2階1番書架にまとめて配架されています。自分にあった本を探してみましょう。



竹内秀一副学長からのメッセージ

「フレッシュャーズ・セミナー a」「大学入門」などの初年次ゼミは、単に学習スキルを身につけるだけではなく、図書館・キャリアセンターなどのオリエンテーション、人権教育、ゼミを通じた仲間づくりなど様々な役割を持ちます。大学に入ってわからないことや困ったことがあれば、ゼミの指導教員に相談しましょう。初年次ゼミをぜひ活用して、順調な大学生活をスタートさせてください。



1

ちょっと
豆知識

新入生の皆さん、初めまして！私たち図書部は、堺憲一学長による教育改革支援制度「進一層トライアル」の一環として、図書館の利用促進を目的とした様々なイベント開催や情報提供などの活動を行っています。どうぞヨロシク！

「新入生へのおすすめ本」

10名の教員が新入生に読んでほしい本を紹介します。これらの本も4月から「Books for freshers」とあわせて図書館で展示します。ぜひ手に取ってみてください。

経済学部 大久保 奈弥先生（「生命の科学」ほか担当）

佐藤 正典『海をよみがえらせる—諫早湾の再生から考える』
岩波ブックレット、2014年

諫早湾は、有明海の豊かな漁業資源を育むための大切な干潟でしたが、農地開発を目的として埋め立てられ、数多くの生き物が殺されました。この本を読んで、日本が世界でいちばん海の環境を破壊している国であることを是非知ってください。

経済学部 尾崎 寛直先生（「コミュニティ福祉論」ほか担当）

新 雅史『商店街はなぜ滅びるのか—
社会・政治・経済史から探る再生の道』光文社新書、2012年
個人商店が「商店街」へと集合体に変身したのはなぜでしょう。本書は、若手研究者がその経緯を政治・経済・社会史からやさしく紐ときます。「商店街」とのせめぎ合いの中から、「コンビニ」や「激安スーパー」という商形態が誕生したという視点も新鮮です。

経営学部 板橋 雄大先生（「税務会計」ほか担当）

ウリ・ニューズィー/ジョン・A・リスト
『その問題、経済学で解決できます。』東洋経済新報社、2014年
僕は君にたくさんの本を薦めたい。君自身と君をとりまく多くの物事が明らかになるから。それはトンネルを出るような気持ちよさだ。でも、まずはこの本を読んでほしい。そして、当たり前だと思っていたことが逆転する読書の醍醐味を味わってほしいんだ。

経営学部 榎 基宏先生（「自然の構造」ほか担当）

板倉 聖宣『虹は七色か六色か』仮説社、2003年
「虹の色の数はいくつ？」という質問に、日本人は「七色」と答えますが、アメリカ人は「六色」と答えるそうです。なぜ答えが違うのでしょうか？よくある説明は、「日本人は色に対する感覚が細やかなので、虹の色を豊かに表現する伝統があるからだ」というものです。果たして、それは本当でしょうか？

経営学部 加藤 みどり先生（「生産管理論」ほか担当）

佐藤 公信『もし ONE PIECEファンの女子大生が起業したら』
イーグルパブリッシング、2010年
サークル存続のため会社を設立することになった主人公の女子大生が、経営に必要な要素を学んでいく。1章は会話でのストーリーと、経営学的な説明を行う解説編から構成されており、わかりやすい。楽しみながら正確な知識が身に付く本書を、基礎経営学・経営学入門の裏参考書として利用して欲しい。



経営学部 高井良 健一先生（「教職論」ほか担当）

エーリッヒ・フロム『愛すること』紀伊國屋書店、1991年
人生を豊かに生きることができるかどうかは、人と自分を愛することができるかどうかにかかっているのではないのでしょうか。フロムは、愛するということが日々の訓練によって鍛えられる技術であると述べ、そこから人間の成熟のありかたを示してくれています。

経営学部 森岡 耕作先生（「マーケティング論」ほか担当）

伊藤 秀史『ひたすら読むエコノミクス』有斐閣、2012年
東京「経済」大学へ入学した皆さんに是非とも読んでほしい1冊です。本書では、経済学で発展してきた概念がわかりやすく紹介されています。この本をきっかけに、入学後、各概念の背景をより深く学んだり、それら概念を中心に、様々な経済・経営の現象を分析してみてください。

コミュニケーション学部 川浦 康至先生（「社会心理学」ほか担当）

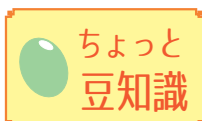
マテリアルワールド・プロジェクト 1994『地球家族—世界30か国のふつうの暮らし』TOTO出版、1994年
家の中のものをすべて外に持ち出してもらい、それを家族とともに撮った写真集。ロバで毎日40分かけて水をくみに行くアルバニア。日本の家族も載っている。わたしたちのふつうはふつうではない。それを知るだけで世界は違って見える。

現代法学部 澁谷 知美先生（「ジェンダー論」ほか担当）

野間 易通『「在日特権」の虚構』河出書房新社、2013年
在日外国人へのヘイトスピーチは差別の扇動であり、具体的な被害を生む。「でも在日には特権があるんでしょ」。そんな人に「あるかボケ」の帯がまぶしい本書を薦めたい。

現代法学部 久保 健助先生（「憲法」ほか担当）

吉村 昭『海も暮れざる』講談社文庫、2011年
「咳をしても一人」「一日物云わず蝶の影さす」など自由律俳句で知られる尾崎放哉。その波乱の生涯を吉村昭が描いています。型にはまった日常に違和感を感じたとき、この1冊をきっかけに放哉句集に向かうもよし、吉村昭作品群に進むもまたよし！です。



課外図書って知ってますか？図書館にはベストセラーや話題の本、文学賞受賞作から趣味の本まで、勉強以外でも楽しめる本を取り揃えています。どんな本があるのか知りたい人は、OPAC 詳細検索の「請求番号/資料ID/NIIレコードID」欄に「/ 課外/*」と入力してください。出版年や分野順に並べ替えもできます。



読書好きも、活字嫌いも、時間が空いたら図書館へGO！ 図書館活用のすすめ

ゼミやサークルで友達と一緒にいるのも楽しいけど、ひとりの時間をどれだけ充実して過ごせるかも大学生活ではとっても大事。図書館には、そんなひとり時間を充実させられる場所・本・ツールが揃っています。本は読まないという方も、空いた時間はとりあえず図書館へ！せっかくの大学の4年間、図書館をフル活用しましょう。

大学図書館ってどんなところ？

76万冊の図書と4,000種類以上の雑誌

東京経済大学図書館では、主に社会科学系の専門資料をコレクションしています。みなさんが大学4年間で勉強するための専門書や、書店や公共図書館にはない貴重な資料がたくさんあります。

入門書や課外図書もあります。

難しい専門書ばかりでなく、1階フロアには、教員推薦本や入門書等の読みやすい本が配架されています。「何を読んだらいいのかわからない」という方は、1階の本棚をブラウジング（本棚を眺めて、気になる本があれば読んでみる）を試してみてください。

新聞・雑誌も取り揃えています

1階には、新聞各紙はもちろん、お固い論壇誌からファッション雑誌まで、様々なタイトルが揃っています。周辺に置いてあるソファや自然光が入るガラス張りのブラウジングスペースで、くつろいでページをめくれます。

充実のデータベースが使えます

電子ブック、企業情報や統計データ等、オンラインデータベースを使って様々なデータに学内から自由にアクセスすることが可能です。

映画も見れちゃいます

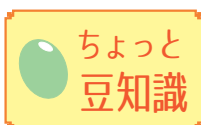
クラシックな名画からアナ雪まで、映画のDVDも多数所蔵しています。1階PC・AVスペースで、一人で、あるいはお友達と二人並んで視聴することも可能です。気になったDVDのケースを持って、1階カウンターにお越しください。

グループで学習・作業できます

友達やゼミ生同士で集まって、話しながら学習できる部屋が複数設けられています。図書館の本やパソコンを持ち込んで相談したり、資料を作ったり、議論したり。いろんな場面で活用してください。4～12名なら図書館2階のグループ学習室、4名以下なら1階のグループ閲覧室があります。利用の際は2階カウンターで手続きしてください。

資料探しをお手伝いします

「資料の探し方がわからない…」 「レポートを書くって何から始めたらいいの？」 困った時はお気軽に図書館カウンターまでご相談ください。3階カウンターでは、現役大学院生が相談にのってくれます。



見逃した映画はありませんか？東経大図書館にどんなDVDがあるのか知りたい人は、OPAC詳細検索の「請求番号/資料ID/NIIレコードID」欄に「/DVD/*」と入力してください。検索結果にDVD一覧が現れます。ただし、映画のDVDは館外貸出できないのでご注意ください！

ガイダンスのご案内

○新入生向けガイダンス

館内見学ツアーと文献検索のガイダンスを実施します。新入生はもちろん、以前ガイダンスを受けたけれど忘れてしまったという2年生以上の方もお気軽にご参加ください。

	館内見学ツアー	文献検索①	文献検索②
内 容	初めて図書館を使う方を対象 ・図書館の基本的な利用案内 ・施設や書架の案内・見学	東経大図書館での本の探し方 他大学の蔵書の検索法 ・OPAC・マイライブラリの利用 ・Nii Webcat の利用	基本データベースのご紹介 ・新聞記事データベース ・雑誌記事データベース
実施時期 (4月)	4月2日(木)～7日(火)の各日 ①12時～ ②14時～ ③15時～ ※土除く 4月9日(木)～24日(金)の各日 12時30分 ※水・土除く	①4月9日(木) ②4月14日(火) ③4月23日(木) 各日12時20分～	①4月16日(木) ②4月21日(火) 各日12時20分～
所要時間	20分	30分	
定 員	15名	10名	
集合場所	1階エントランス	1階ブラウジングスペース	
申 込	申込は不要です。開始時間に上記集合場所にお集まりください。		

○2年生以上対象のガイダンス

これからレポートや論文に取り組む方対象の内容です。5月より随時実施します。

	レポートの書き方	Refworks の使い方 (初級～上級)
内 容	レポート作成のための資料収集 レポート・論文の組み立て方	文献管理ツール「Refworks」の基本操作 (初級) 参考文献リストの作成等 (上級)
実施日時	5月より実施します。日程や詳細は、決定次第、図書館ホームページ等でご案内します。	

ツアーやイベントもやってます！

図書館では、課外活動として見学ツアー等のイベントを開催しています。

2015年度のイベントは、決定次第、図書館ホームページ等でお知らせします。お気軽にご参加ください。



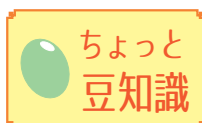
神保町古本屋散策ツアー



国立国会図書館見学ツアー



大宅壮一文庫見学ツアー



スマホから東経大図書館の本を検索できます。図書館ホームページの「モバイル版 OPAC はこちらから」または、<http://osirabe.net/opac.tku/> へアクセス。「My Library」にログインすれば、貸出中の図書予約や自分が借りている本の貸出延長、自動書庫にある本の出庫請求もできます。使ってみるべし！



語学学習のすすめ

高校までは「外国語＝英語」だった方が多いと思いますが、大学では英語以外にも多数の言語を開講しています。せっかくの大学生活、様々な言語に触れてみませんか。

経営学部 相澤 伸依先生（「フランス語」担当）からのメッセージ

東経大では、多様な語学科目を提供しています。通年2単位、暗記も多い語学を履修するって、ちょっとハードルが高いでしょうか？しかし、そのハードルを越えて、語学を学ぶことには次のようなメリットがあると私は考えています。

第一に、母語とは違う言葉を学ぶことは知的な刺激を与えてくれます。面白い形の文字や発音に触れることは純粋に面白い。第二に、言葉を通して、その言葉を話す人々の社会や文化について知る機会になります。第三に、言葉を使えるようになれば、今まで言葉が通じなかった他者とコミュニケーションが取れるようになります。

言葉を学ぶことは、今まで出会えなかった他者や文化と出会うチャンスを与えてくれるのです。言葉の学習を通して、ぜひ自分の世界を広げてください。

東経大で開講する語学授業のラインナップ

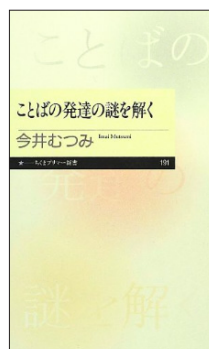
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、朝鮮・韓国語、日本手話、日本語、ビルマ語（特別語学）、ロシア語（特別語学）

*特別語学は常設科目にない様々な言語科目を、数年おきに変更しながら開講するものです。

語学を学ぶ人にオススメの2冊

今井 むつみ『ことばの発達の謎を解く』ちくまプリマー新書、2013年
赤ちゃんがどんなふうにかたじけなく学んでいくのかをわかりやすく解説した本。赤ちゃんの学びのプロセスから、私たちが母語ではない言葉を身につけるためのヒントが得られます。

亀井 伸孝『手話の世界を訪ねよう』岩波ジュニア新書、2009年
文化人類学者の著者が導き手となって、手話の世界でのフィールドワークへと読者を誘う本。手話という言語を知ることを通して、言語と文化が密接に関連していると実感できます。



図書館1階にて企画展示「世界の言語と文化」を開催中。
語学に興味のある方にオススメの本が並んでいます。

経験者は語る（特に名を秘す）

年配の私が大学生の頃は、英語に加えて第二外国語が必修でした。何も考えずドイツ語を履修しましたが全く身につかず、大学院入試では泥縄学習で苦労しました。

私の専門の学問業界は英語のみでほぼなんとかなります。しかし、海外出張では英語の通じにくい国に行くこともある。そんな時、片言でも現地の言葉を使うと、人々とのコミュニケーションが非常にスムーズになります。

大学時代に超適当でも語学を学んだ経験が幾らかは生きています。若い時代に多言語に触れておくことは、のちのち思わぬところで役に立つ！大学で学んでおくことを強くお勧めします。

5

ちょっと豆知識

語学力を向上させるには、その言語のネイティブの友達を作るのが効果的。東経大には、中国をはじめ、台湾、韓国、イギリス、カナダ、フランス、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴルなど、世界各国から外国人留学生が集まっています。「留学生と交流したい」そんなアナタは国際交流チューターの企画イベントにぜひご参加ください。詳細は1号館2階の国際交流課にお問い合わせを。

本のある街・国分寺

東経大生が4年間のキャンパスライフを送る国分寺市。

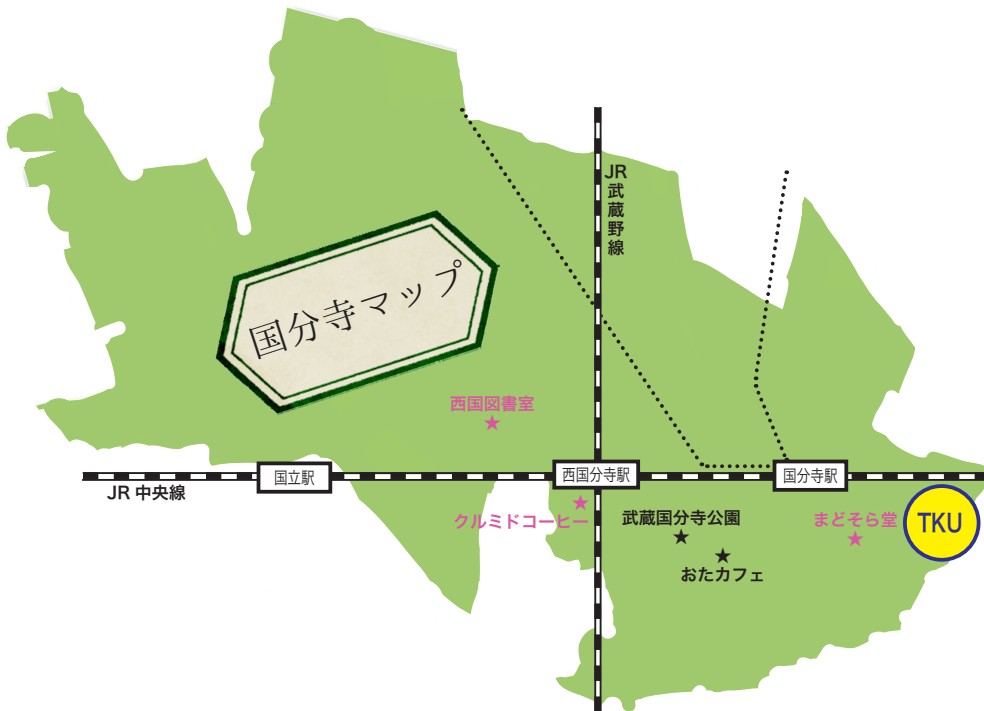
ここでは、国分寺市の魅力と、本や読書に関する新たな取り組みについてご紹介します。

国分寺市の魅力と本や読書に関する新たな取り組み

国分寺市は地理的に東京都のほぼ真中に位置し、市名は武蔵国の国分寺がこの地にあったことに由来します。国分寺は、奈良時代の天平13年(741年)に、仏教による国家鎮護を目的として聖武天皇が国ごとに建立を命じた寺院で、武蔵国分寺跡は都立公園として広く開放されています。東経大は、国分寺市内唯一の大学として、「市民大学講座」の提供や「地区防災センター」の設置などの幅広い地域連携・貢献活動を行っています。

今、国分寺では本や読書に関する新たな取り組みが広がっています。昨年、市民を中心とした「国分寺ブックタウンプロジェクト」が発足し、毎年秋に市内全域で行われる文化イベント「ぶんぶんウォーク」で、イベント満載の「ブックフェスティバル」を開催しました。また、武蔵国分寺公園の西側に、2016年3月に東京都立多摩図書館、2019年中に東京都公文書館が移転・開館します。さらに、2018年に完了予定の国分寺駅北口再開発で建設されるツインタワーに市立図書館が入館予定です。本を通して人々が繋がり、変わってゆく国分寺の街に要注目です。

ブックタウンプロジェクト <http://www.n95.jp/project/kokubunji-booktown-project/>



国分寺で活動する授業紹介

キャンパスを飛び出し、国分寺市をフィールドとして活動する授業を紹介します。詳細は『履修の手引き』や「シラバス(講義概要)」を確認してください。

「地域インターンシップ」(2年次以上)

国分寺市役所や多摩信用金庫など国分寺地域にある企業や団体と連携してインターンシップを実施する授業です。大学で学んだことを国分寺の街で実践し、地域の課題解決に取り組みます。

特別ゼミ「エコキャンパスを創る」

本学の雑木林と湧水の環境を守るための学習と実践作業を交互に進めるほか、「学内農園」で作った東経大産の野菜を地域に振る舞ったり、国分寺のゴミ減量に貢献するための取り組みにも尽力。「TKUエコ新聞」も発行。

小木 紀親ゼミ(経営学部)

「国分寺物語 ぶんぶんぶら〜り国分寺散歩」マーケティングを学ぶ小木ゼミの学生達が国分寺の魅力を再発見してもらおうとFacebookやWebサイトをオープン。「人」「街」「歴史と文化」の物語のほか、グルメ情報も満載。必見です!

<http://kokubunjimonogatari.com>

尾崎 寛直ゼミ(経済学部)

「Cafe & Sweets IZUMI & SHINJIRO」コミュニティ福祉を学ぶ尾崎ゼミの学生が国分寺市障害者センターとの協働により障害のある人達の働く場づくりを応援。東経大や国分寺市内で、手作りシフォンケーキなどの販売を行っています。

福士 正博ゼミ(経済学部)

「おたカフェ」ほか多数
まちづくりをテーマに活動してきた福士ゼミでは、武蔵国分寺跡・真姿の池・お鷹の道のある史跡地域に2009年にオープンしたコミュニティ・カフェ「おたカフェ」の運営をはじめ、国分寺市内のイベント運営やフリーペーパーの発行など幅広い活動を行っています(2015年度のゼミは休講)

上記以外にも、多数のゼミが地域で活動中!詳しくは、「シラバス」や「東京経済大学地域連携センターパンフレット」をご覧ください。

v.tku.ac.jp/renkei/pdf/renkei_pamphlet_2013.pdf

国分寺の街が登場する小説たち

国分寺市が位置する武蔵野(東京都・埼玉県・神奈川県の一部)や多摩(東京都西部)は、大岡昇平の小説『武蔵野夫人』やRCサクセションの曲「多摩蘭坂」など、様々な芸術作品の舞台となりました。

国分寺市は、村上春樹がジャズバー「ピーター・キャット」を開店したことで有名な場所です。

ここでは、タイトルに「国分寺」の地名が入っている書籍2点をご紹介します。

椎名 誠『さらば国分寺書店のオバースーパーエッセイ Part1』情報センター、1979年

椎名誠のデビュー作として有名なエッセイ。大学生の皆さんが生まれるずっと前、JRが「国鉄」と呼ばれていた時代のお話です。馴染みのある地名がたくさん出てくるので、タイムスリップ気分を味わいながら読んでみてはいかがでしょうか?



雪舟 えま『バーজনパンケーキ国分寺』早川書房、2013年

国分寺にある「修道女のスカート色をした、くもり空の日のみ営業」するパンケーキ屋さんが舞台の不思議な小説。日本の国分寺跡を巡礼中のアイスランド人少女が登場します。巻末には作品中に登場するパンケーキのレシピも収録。

7

ちょっと豆知識

大学周辺のお花見スポットをご紹介します。国分寺駅南口を出て西に歩くと武蔵国分寺公園があります。ソメイヨシノがたくさん。吉祥寺の井の頭公園もお花見シーズンはすごく賑わいます。少し足を伸ばして調布の神代植物公園は、桜だけでなく様々な植物を楽しめます。5月中旬~下旬の春バラシーズンにはコンサートやガイドツアーも開催されますよ。



もちより図書室「西国図書室」

前述の「国分寺ブックタウンプロジェクト」の主催者・篠原靖弘さんご夫妻が営む私設図書室です。その活動は、「住み置き」（自宅を無理のない程度に何らかの方法でまちに開くこと）の先進事例として各種メディアで取り上げられています。市内のカフェ「クルミドコーヒー」やパン屋さん「ラ・ブランジュリ・キニョン」にも分室があり、この3月で活動4年目を迎えました。

西国図書室/分室に本1冊をもちよれば、だれかの大事な本を一冊借りられます。あなたの本は、様々な人たちの手を渡り、旅先でたくさん感想を身にまとして1年後or3年後に戻ってきます。

図書室内で見知らぬお客さんと情報交換をしながら本を選ぶのも楽しい時間。Facebookでは、本の旅行記やブックカフェなどのイベント情報をチェックできます。



国分寺市日吉町 1-40-46
JR 西国分寺駅南口より徒歩9分
TEL : 080-5686-3453
Open 日曜 13 : 00 ~ 17 : 00
臨時休業あり
<https://www.facebook.com/nishikokutoshou>

カフェ「クルミドコーヒー」

「こどものための、大人の物語」をコンセプトにしたカフェで店内の本棚には絵本が並んでいます。「クルミド出版」という出版社も立ち上げており、コーヒーのお供にぴったりの「珈琲1杯分のエッセイ」も楽しめるほか、雑誌『そういえば さあ、』の創刊準備号には「国分寺 本屋の地層地図」も掲載されています。

月1回開催されるイベント、クルミド出版 x 西国図書室 presents 「book cafe KURUMED COFFEE」では、テーマに基づいて各自のお気に入りの本を1冊持ち寄り、コーヒーを片手に本について語り合うという濃密な時間を過ごせます。

また、世界的に広まっているコミュニケーション型ブックトークイベント「ブック交換」（決められたテーマに合った本を持参し、自己紹介をかねた本の紹介をした後、本を交換しあう会）にも会場を提供するなど、本好きさんの交流拠点になっています。



国分寺市泉町 3-37-34 マージュ西国分寺 1F
JR 西国分寺駅南口より徒歩1分
TEL : 042-401-0321
Open 10 : 30 ~ 22 : 30
定休日 : 木曜日
<https://kurumed.jp>

古書「まどそら堂」

国分寺駅南口からの通学路にあるガソリンスタンド前の交差点を、府中方面に南下した左手にある古書店。店主の小林さん（右の写真中央）は多摩美術大学出身で、店内にはご自身の作品が飾られ、ちょっと懐かしい音楽が心地よく流れています。

月1回ペースで開催される朗読会では、ドリンクを片手にゆったりと本の世界を味わえます。常連の東経大生2名より、「まどそら堂の好きなところ」を紹介してもらいました。



国分寺市南町 2-10-10
JR 国分寺駅南口より徒歩5分
TEL : 042-312-2079
Open 13 : 00 ~ 19 : 00
定休日 : 木曜日
<http://madosora.exblog.jp/i6>



経済学部2年 三村 本道さん（写真左）

まどそら堂の淡い青のペンキ色と真っ白な外装が好きだ。本独特の匂いをドアを開けた瞬間から感じることができ、間接照明と店内音楽にリラックスさせられる。

店主さんは人とかかわるのが好きで、人のアイデアを、興味を持って聞いてくれる人だと思う。僕が、コーヒーが好きだと言えば近くの美味しいコーヒーを淹れてくれるカフェを紹介してくれる。並べてある本は僕が生まれる前のものばかりであったりするが、本棚の左端から右端まで背表紙のタイトルをゆっくり追っていき、読んだことのある本のタイトルを見つけると、宝物でも発見した気分になる。昔読んで印象に残っていた本もそうでない本も、見つけたら戦利品のように手に取る。SFものが多かったり猫関連の本が一角に置かれてあったり、店主さんの遊び心がうかがえる素敵な古書店だ。

21世紀教養プログラム3年 成瀬 都香さん（写真右）

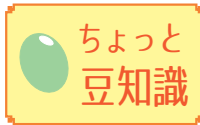
まず店がちっちゃい。その中にぎっちゃんみっちり本がつまっていて、可愛い。お酒落。そのくせ私が大好きな怪奇幻想小説、そしてガロ系の漫画が充実している（でもお酒落な本もちゃんとある）。背表紙を眺めてパラパラ捲るだけで、1時間は長居できる。自分の好きな本を探すならどのお店に行くよりも早い。

図書部員 M の「俺のサードプレイス」～オススメ読書スポット紹介～ 第1回「カフェバー Roof」

外観は緑があふれていて、入りやすい雰囲気。ルーフという店名のとおり、二階席がある。お気に入りの席は一階の大窓に面したところだ。そこでクロックムッシュを食べながら、文庫本を読むのはどうだろうか。ふと本から目をあげて、外を行きかう人たちを見たりしながら、ゆったりとした時間が過ぎせる。パーカウンターの奥に見える、CDラックのラインナップも気になる。昼間はカフェ、夜間はバーに変身する、隠れた名店だ。



カフェバー Roof
国分寺駅北口より徒歩5分
国分寺市本町 3-12-12
TEL : 042-323-7762
Open 12 : 00 ~ 24 : 00
定休日 : 水曜日
<http://www.roofhp.net/info.html>



東経大からちょっとお散歩してみませんか？ 南門から出てすぐの野川沿いは遊歩道が整備されています。歩いていると、鴨の親子が見れたりします。野川は大岡昇平の小説『武蔵野夫人』にも出てきます。市内にある「姿見の池」は、「恋ヶ窪」の地名の由来となった悲恋物語の舞台とも言われる場所。また、西武鉄道国分寺線「恋ヶ窪駅」は日本に4つしかない「恋」のつく駅のひとつです。



大倉喜八郎

—越後から江戸へ、そして世界へ—

東京経済大学の前身、大倉商業学校の創設者・大倉喜八郎は、江戸時代の天保8年（1837年）に越後国（現在の新潟県新発田市）に生まれ、18歳（数え年、以下同）で単身、江戸に上京し、商人として財を成しました。明治5年（1872年、当時36歳）には日本人民間人として初めての長期欧米視察、明治7年にはロンドンに日本企業初の海外支店開設を果たすなど、たくさんの「はじめて」を実現しました。

明治33年（1900年）、喜八郎翁はグローバルに活躍できる商業人の育成を目的として大倉商業学校を創設し、困難な時こそ一歩前に踏み出すチャレンジ精神や社会人として「責任と信用」を重んじることの大切さを、学生たちに伝えてきました。

本学創立115周年の今年、また新たに全国各地、世界各国から共に学ぶ仲間を迎えることを記念して、大倉喜八郎と日本文化に関する企画図書展示を図書館1階で開催します。ここでは、その展示図書の一部と、関連するイベント・授業等についてご紹介します。



江上 剛『怪物商人 大倉喜八郎伝』
PHP 研究所、2013年
大手銀行で勤務後、経済小説で作家デビューした著者による伝記。大成建設や帝国ホテルなど、喜八郎翁が設立・経営に関わった多数の国内外企業を舞台に、激動の時代が描かれています。

砂川 幸雄『大倉喜八郎の豪快なる生涯』

草思社、2012年
江戸時代の丁稚奉公時代から、独立、大財閥の形成、商業学校設立までをまとめあげた作品。砂川幸雄氏の他の著作には、『やがてなりたき男一匹 大倉喜八郎狂歌集』もあります。



三浦 しをん『あやつられ文楽鑑賞』
双葉文庫、2011年
狂歌に親しみ、日本初の私立美術館「大倉集古館」を開館するなど芸術を愛した喜八郎翁。その生涯は人形浄瑠璃・創作文楽『喜八郎快商物語』にもなりました。小説『舟を編む』の著者による文楽解説で日本の伝統芸能に触れてみてはいかがでしょうか？

父母の会主催「地域別学生交流会」のご案内

地元出身の同級生や先輩・後輩と知り合うチャンス！
東京経済大学父母の会の支援により無料で参加できます。
クラスメイトも誘って参加しましょう。

- 日時 4月21日（火）16:30～18:30
会場 6号館7階 大会議室
内容 地域ごとのテーブルで食事をしながら懇談
対象 東京・埼玉・神奈川を除く地域出身の一人暮らしをする学部1～4年次生
申込 3月30日（月）～4月15日（水）の間に以下の流れに沿ってメールで申込み
1. 宛先に「kouyu-annai@s.tku.ac.jp」と入力
2. 件名に「地域別交流会申込」と入力
3. 本文に①学籍番号、②氏名、③出身都道府県・市区町村名を入力
4. 内容を確認して送信！当日会場へGO！

発言録『大倉喜八郎かく語りき ～進一層、責任と信用の大切さを』配布中！

図書館1階の本展示コーナー及び6号館1階学生課カウンター前にて、本学史料委員会編集による発言録を無料配布中！喜八郎翁のメッセージが詰まった1冊。ぜひ手に取って見てください。



「歴史で知る東京経済大学」開講！

今年度、大倉喜八郎と本学の歴史について学ぶ総合教育科目「歴史で知る東京経済大学」を新たに設置しました（2～4年次生も履修可能）。教育や歴史に興味がある方には特にオススメです。



Chris Rowthorn 他『Lonely Planet Japan』 Lonely Planet、2013年

欧米圏の定番旅行ガイド。「外国から見た日本はこんな感じなのか…！」と新たな発見があるはず。ご自身の出身地がどのように紹介されているかチェックするのも楽しいですよ！



ステュウト ヴァーナム-アットキン著、とよぎき ようこ 訳『日本風物詩』
IBCパブリッシング、2014年
日本の伝統芸能や遊び、年中行事などについて美しい写真と日英の対訳で紹介。四季のある国に生まれた幸せを実感できます。

櫻井 孝昌『英語で話そう！世界が恋する日本』 アルク、2011年

世界共通語になった50個の日本のことば（アニメ、お弁当、カワイイ、ゴスロリ、コンビニ etc）を英語で解説。日本のポップカルチャーについて留学生と英語で話したい時に必ず役立つ一冊。



9

ちょっと豆知識

四季折々の花が植えられた学内のフラワープランターや、学生の健康維持・増進を目的とした「100円朝食」などの企画は、いずれも「東京経済大学父母の会」のご支援により運営されています。学生生活を様々な面から支えてくださる皆様には、心より感謝！ですね。長いようで短い4年間、好きなことを思いっきり学び、充実した日々を送って、しっかり恩返ししちゃいましょう！

学生・教職員のオススメ本

読書好きの皆さんより、幅広いジャンルのオススメ本を紹介してもらいました！



経営学部 2年 宮崎 穂乃香 (みやざき ほのか) さん

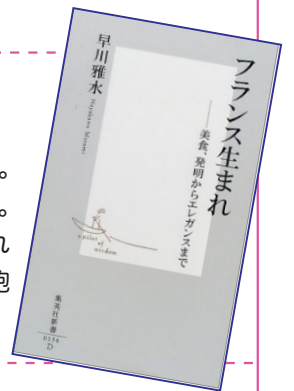
バタイユ「目玉の話」『マダム・エドワルダ；目玉の話』所収 中条省平訳
光文社古典新訳文庫、2006年

この本は、バタイユというフランスの思想家によって書かれたエロティシズム文学作品である。バタイユによれば、かつて動物は子孫を残すためにだけに性活動を行っていたが、人間がその中にエロスを取り込むようになった。エロスについてのバタイユ独特の発想、例えば、目玉などの球体にまつわる少年少女の性への興味と欲望は、一見異様に思えるが、しかし同時にバタイユの持つ言葉の美しさを味わうことができる。哲学に興味がある人に、おすすめの文学作品である。【1階新書文庫コーナーの18番書架に所蔵】

コミュニケーション学部 1年 栗原 美穂 (くりはら みほ) さん

早川 雅水『フランス生まれ—美食、発明からエレガンスまで』集英社新書、2002年

この本では、「フランス生まれ」のものもののルーツやフランスでの使われ方が紹介されています。おなじみのフランスパンやチーズから、道路標識やジーンズなど、身の廻りの意外なものまで…。ものの紹介を通して、フランス人の生活や文化の意外な一面を垣間みることができます。それぞれ2、3ページずつで書かれているので、フランスに興味のある方はもちろん、読書が苦手な方も飽きずに読める本だと思います。【1階新書文庫コーナーの15番書架に所蔵】



経済学部 金 成垣 (きむ そんうおん) 先生

武川 正吾『福祉社会学の想像力』弘文堂、2012年

いま日本の社会に何か起きているのか。子どもの虐待や貧困、若者の雇用不安や所得格差、超少子化、中高年層の高い自殺死亡率、高齢者の孤独死等々、日本の福祉システムに何か深刻な問題が起きていることははっきりと見てとれる。このままいくのか、変えるべきか。社会学をベースにしながら、機能不全に陥っている日本の福祉システムの実態と原因を知り、その改善に向けての多様な選択肢とそれを考える基準を示してくれる一冊である。【3階17番書架に所蔵】

現代法学部 中村 悠人 (なかむら ゆうと) 先生

浜井 浩一・芹沢 一也『犯罪不安社会—誰もが「不審者」？』光文社新書、2006年

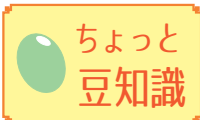
治安悪化は本当か？マスコミでもインターネットでも、多くの人が日本の治安は悪化したと言い、凶悪な犯罪が続発するようになったと叫んでいる。けれども、犯罪統計をみれば、凶悪犯罪の数は多くなく、むしろ軽微な犯罪がほとんどである。刑務所も老人や病人が多く、とても凶悪な人間しかいないとは思えない。それでは、何故このような治安悪化というイメージができてしまったのか。このからくりを解きほぐしてくれるのが本書である。【1階新書文庫コーナーの16番書架に所蔵】



入試課 高田 詩織 (たかだ しおり) さん

伊坂 幸太郎『グラスホッパー』角川文庫、2007年

妻を轢き殺され復讐に燃える気弱な元教師「鈴木」。ある日鈴木は、自分の復讐相手が「押し屋」と呼ばれる殺し屋に殺される瞬間を目撃してしまう。「押し屋」とは何なのか、復讐を横取りされた鈴木は彼の後を追う…。ダークな世界観、個性豊かなキャラクターたち、伊坂幸太郎独特の疾走感はとにかく先を読まずにはいられない。2015年に瀧本智行監督、生田斗真主演で映画化も決まっている同作。非日常的なスリルを味わいたいあなたにオススメ。【1階課外図書コーナーに所蔵】



「お気に入りの本を誰かにお勧めしたい！」というアナタ。蔵書検索 OPAC にレビューを投稿することができます。手続きはとっても簡単。OPAC 画面でお勧めしたい本を検索し、図書情報詳細ページの一番下にある利用者レビュー欄の「レビューを書く」メニューをクリック。ユーザ認証後、投稿するだけ！「利用者レビューとは？」メニューを一読の上、投稿してくださいね！



イベント案内

注目イベントのご案内

- 図書館：各種ガイダンス
4月より随時開催します（詳細は p.4 をご参照ください）
- 国際交流課：「海外語学研修」説明会
4月中旬～下旬のお昼休みに開催（詳細は p.6 をご参照ください）
国際交流チューター企画の留学生との交流イベントも随時開催予定です。
- 父母の会：「地域別学生交流会」
4月21日（火）16：30～18：30 @6号館7階大会議室
（詳細は p.9 をご参照ください）
- 学生課：文化会本部主催の課外活動発表イベント「文化の花道」
6月8日（月）～17日（水） @進一層館フォワードホール（予定）

図書部 Twitter では、図書部の活動情報、学内のイベント情報、本や映画の紹介などを配信しています。
@tku_toshobu をチェック！



図書館、続々リニューアル中！

利用者のみなさんからの要望・提案を参考に、より便利で役立つ図書館になるよう日々リニューアルしています。



文庫・新書ガイドを追加しました



教職・資格図書をリニューアルしました



企画展示も定期的に入れ替えています

4月には、1階フロアに新着図書コーナーを開設予定です。図書館に仲間入りする本をチェックしてください。みなさんの意見を広く聞くため、投書箱も準備中。図書館が使いやすくなるアイデアをお待ちしています！

図書部サポーター募集！

図書部では学生サポーターを募集しています。
主な活動内容はこちら！

- ①企画展示の設営準備
- ②読書会や学外の図書館見学等のイベントへの参加&レポート
- ③当『図書部だより』への寄稿
※一部のみ参加もOK

ボランティアとして、本好きの仲間たちと楽しく交流できます。

希望者は図書館カウンターまたは library@s.tku.ac.jp（件名：図書部サポーター応募）へ！



過去の企画展示の様子

今後の発行スケジュール

『図書部だより』は、図書館に関する情報を提供し、学内のコミュニケーションを図ることを目的として、年4回の季刊発行を予定しています。

次の夏号は「海外留学&旅行特集」を計画中！

「こんな企画をやってほしい」「大好きな本を紹介したい」「インタビューに来てもイイよ！」という学生・教職員の方は、図書部員までご連絡ください。

<各号の発行予定時期>

夏号（6月下旬）、秋号（10月下旬）、
冬号（1月上旬）、春号（3月中旬）

教育改革支援制度（進一層トライアル）採択事業

『TKU LIBRARY NEWS（図書部だより）vol.5』2015年3月発行

発行元／東京経済大学 図書部 図書部員：相澤伸依、新正裕尚、野田淳子（以上、経営学部専任教員）

鴨下彰子、小川紀子、清原文（以上、図書課）

網中真志（学生課）、田中理沙（学務課）、角田浩司（情報システム課）